

令和3年度

小学生名寄自然体験交流事業報告書



名寄市観光キャラクター  
「なよろう」



杉並区次世代育成基金活用事業

令和4年3月  
杉並区教育委員会

# 目次

## 01 小学生名寄自然体験交流を終えて

杉並区教育委員会 教育長 白石 高士  
名寄市教育委員会 教育長 小野 浩一

## 02 小学生名寄自然体験交流事業の概要

## 04 名寄交流マップ

## 05 写真でふりかえる交流事業

## 09 派遣児童の作文・作品

## 24 令和3年度 思い切り楽しんだ小学生名寄自然体験交流

西田小学校 校長 鈴木 朝代

## 25 保護者の感想

なよろ市立天文台「きたすばる」  
令和3年12月25日

## 小学生名寄自然体験交流を終えて



杉並区教育委員会  
教育長

白石 高士



名寄市教育委員会  
教育長

小野 浩一

杉並区の交流自治体である名寄市に、小学生を派遣する「小学生名寄自然体験交流事業」は今回で10回目となります。新型コロナウイルス感染症の影響を心配しましたが、昨年度に引き続き、しっかりと感染症対策を行ったうえで訪問することができました。

この時期に子どもたちを名寄市に派遣しているのは、寒さの厳しい真冬だからこそ得られる体験を通して、自分自身の肌で感じ、学び取ることがあると考えているからです。こうした私たちの期待が伝わったのか「雪合戦をしたけどサラサラで雪玉が作れなかった」「街の中に雪を捨てる専用の場所があって驚いた」といった、思いもよらない東京の暮らしとの違いに、子どもたちは驚いた様子だったと聞いています。

また、今年は天候にも恵まれ、予定していたすべてのプログラムを体験することができました。特に、冬の名寄市だからこそ見られる満天の星空は、子どもたちの心に感動を与えたようです。

本事業は、あらかじめ自分で学習テーマを設定し、体験したこと、学んだことを発表することが大きなねらいです。そのため、派遣前の下調べはもちろん、現地の北国博物館や天文台では話を聞き、質問をし、旭山動物園では、動物の生態をよく観察し、記録し、自分自身で考えをまとめなければなりません。残念ながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、学習成果発表会は実施できませんでしたが、子どもたちの学習成果作品を見ると、こうした事業の一連の流れが、子どもたちの探求心を育んだものと実感しました。

結団式で初めて顔を合わせ、緊張した面持ちだった子どもたちも、事前学習会で顔を合わせると仲間意識が芽生え、派遣期間中は、それぞれが自分の役割を果たしながらグループ行動を進めることができたようです。保護者の方からは、「名寄市へ行って、ひと回り成長した」「自分自身に自信がついたようだ」という声を聞き、大変うれしく思っています。これをきっかけに、子どもたちがさらなる学びに向かって前向きに取り組んでくれることを期待しています。

結びになりますが、本事業の実施にあたりまして、次世代育成基金の趣旨にご賛同・ご支援をいただきました皆様、派遣受入先である名寄市の皆様、子どもたちを支えてくださった保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

本年度も「小学生名寄自然体験交流」を無事終了できましたことを大変嬉しく思います。実施にあたり、感染症対策などの準備にご支援、ご協力を賜りました保護者、関係者の皆様に心より敬意を表する次第であります。

本年度の名寄の冬は、11月下旬の記録的な大雪から始まりました。開催期間には寒さも厳しさを増し、3日間にわたり北国名寄の冬を体感していただきました。

参加された杉並区の児童の皆さんには、北国博物館での展示室の見学、スノーシュートレッキングや雪遊びによる名寄の児童との交流、カーリング、なよろ市立天文台きたすばるの見学など、名寄ならではの冬の自然や文化、スポーツに親しんでいただきました。

今回の自然体験交流の学習成果につきましては、報告書が完成したらお送りいただけることですので、心待ちにしております。

本事業は、「杉並区次世代育成基金」を活用して、次世代を担う子どもたちが様々な体験・交流を経て、夢を描き、その夢に向かって健やかに成長できる取り組みを支援する活動と聞いております。名寄市での体験・交流が、本事業の目的に少しでも寄与できますよう、今後とも受け入れに最大の努力をしていきたいと考えております。

結びに、本事業を通じて杉並区と名寄市の交流や相互理解がますます深まることをご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。



名寄市児童のみなさん

## 小学生名寄自然体験交流事業の概要

### 1. 目的

この事業は、杉並区次世代育成基金を活用して、区内児童を交流自治体である名寄市に派遣し、厳しい寒さと豊かな自然との触れあいや、国内最大級の望遠鏡による観測等の体験、さらには地元の子もたちとの交流などを通じて、自然の雄大さや大切さに気付き、さらに文化や産業の違いと良さを認め合う態度など、児童の知的好奇心や、豊かな人間性を育むことを目的としています。

### 2. 事業のスケジュール

令和3年 11月 5日(金)	結団式・第1回事前学習会・保護者説明会
12月 7日(火)	第2回事前学習会・保護者説明会
12月25日(土)～12月27日(月)	自然体験交流(北海道名寄市派遣)
令和4年 1月11日(火)	学習相談会・保護者説明会
2月 5日(土)	学習成果発表会(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。)

### 3. 派遣児童名簿(学習・行動班別)

班	氏名	学校名	学年
1班	笠井 拓実	方南小学校	5年
	神本 一龍	堀之内小学校	5年
	木村 駿介	杉並第三小学校	5年
	永井 美音	桃井第三小学校	5年
	松井 知代子	井荻小学校	5年
2班	成川 怜奈	杉並第十小学校	5年
	西山 康太	高井戸小学校	6年
	野中 嘉映	杉並第六小学校	5年
	室屋 すみれ	沓掛小学校	5年
	横山 桃李	桃井第五小学校	5年
3班	上野 里緒	桃井第一小学校	6年
	岡本 真衣子	富士見丘小学校	5年
	小口 佑	高円寺学園	5年
	田端 玲咲	西田小学校	5年
	福留 凰矢	西田小学校	5年

### 4. 引率者

鈴木 朝代	西田小学校 校長	加藤 則之	済美教育センター 統括指導主事
枝 淳子	富士見丘小学校 主任教諭	岡部 洋右	済美教育センター 指導主事
上村 拓也	杉並第十小学校 教諭	本橋 宏己	生涯学習推進課長
喜多 良仁	西田小学校 教諭	鈴木 美貴	生涯学習推進課管理係 主査
※他	看護師 1名	田中 幸穂	生涯学習推進課管理係

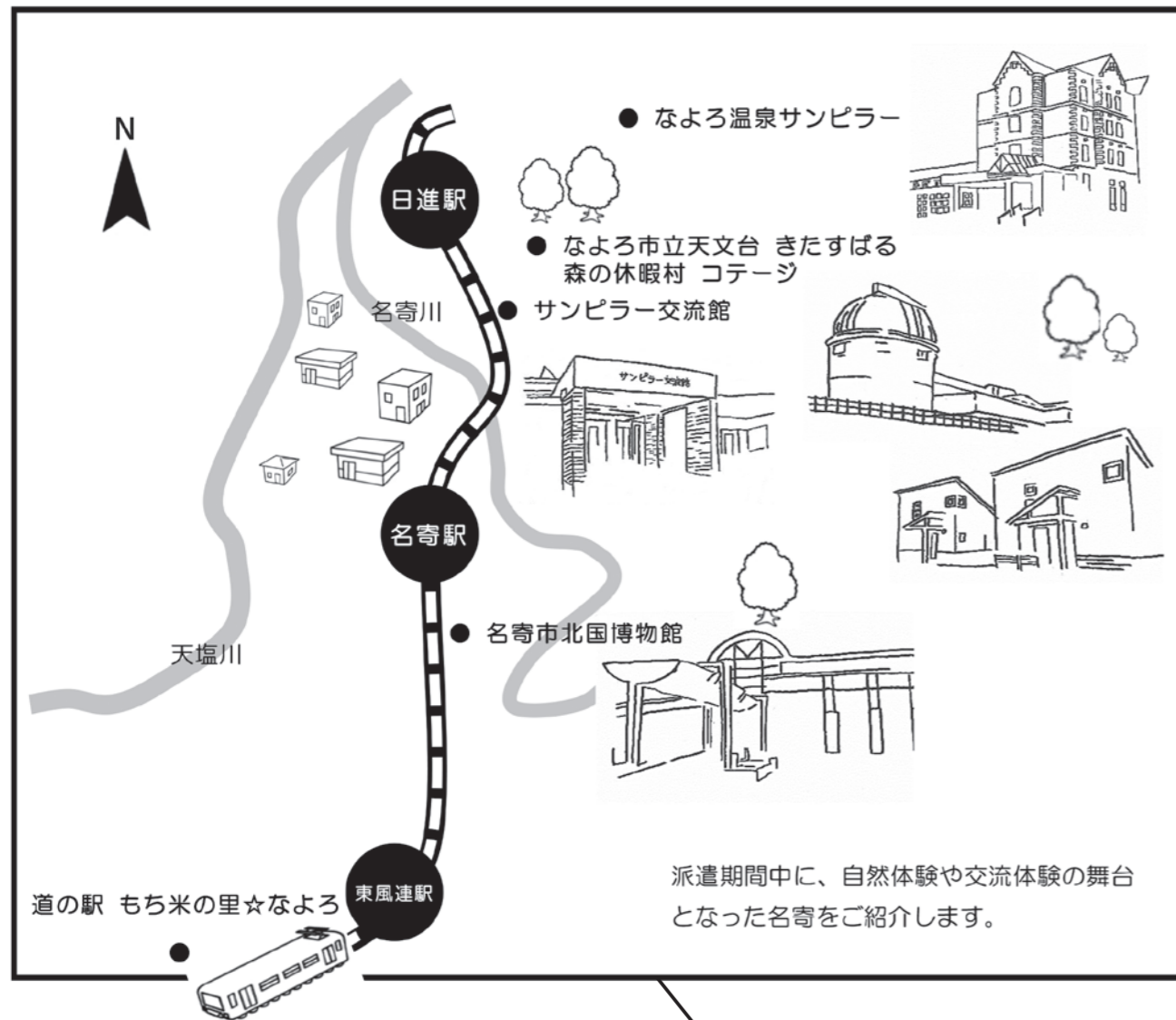
### 5. 学習指導者

小澤 伸生	馬橋小学校 校長(前年度引率)
小山 浩	済美教育センター 理科教育指導担当

## 小学生名寄自然体験交流事業(令和3年度)行程表

時間	1日目[12月25日(土)]		2日目[12月26日(日)]		3日目[12月27日(月)]		
	晴れ時々雪	最高気温 - 8.1℃ 最低気温 - 16.1℃	晴れ時々雪	最高気温 - 7.0℃ 最低気温 - 16.1℃	晴れ時々雪	最高気温 - 5.8℃ 最低気温 - 15.0℃	
6			6:00	起床	6:00	起床	
7	7:30	児童集合	7:00	森の休暇村コテージ発	7:00	森の休暇村コテージ発	
	7:45	出発式	7:10	なよろ温泉サンピラー着(朝食)	7:10	なよろ温泉サンピラー着(朝食)	
8	8:00	杉並区役所発	8:15	なよろ温泉サンピラー発	8:15	見送り式	
			8:30	北国博物館着	8:25	なよろ温泉サンピラー発	
9				博物館見学	8:55	もち米の里☆なよろ着	
					9:15	もち米の里☆なよろ発	
10	10:15	羽田空港着	10:00	対面式	10:35	旭山動物園着	
	10:45	羽田空港発(JAL553便)		スノーシュー トレッキング & 宝探し			
11		昼食(機内)				グループ行動 ・ 昼食(園内)	
12	12:25	旭川空港着	12:15	昼食			
13	13:00	旭川空港発		雪あそび			
14			14:00	名寄児童とお別れ式	14:30		旭山動物園発
			14:15	北国博物館発			
			14:30	サンピラー交流館着			
15	15:20	森の休暇村コテージ着		カーリング	15:00	旭川空港着	
16	16:15	森の休暇村コテージ発	16:30	サンピラー交流館発	16:40	旭川空港発(JAL556便)	
	16:20	きたすばる着		天体観測			
17	17:20	きたすばる発	17:00	きたすばる着			
	17:30	なよろ温泉サンピラー着 入浴		プラネタリウム鑑賞			
18	18:30	夕食	18:20	きたすばる発	18:30	羽田空港着	
			18:30	なよろ温泉サンピラー着 入浴			19:00
19	19:10	なよろ温泉サンピラー発	19:30	夕食	20:20	杉並区役所着	
	19:20	森の休暇村コテージ着					
20				アイスクリーム作り	20:45	解散	
			20:10	なよろ温泉サンピラー発			
			20:20	森の休暇村コテージ着			
21	21:00	就寝		天体観測			
			21:00	就寝			

# 名寄交流マップ

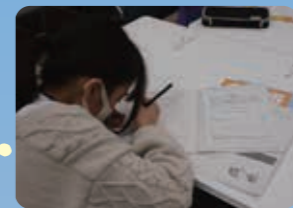


名寄市公式サイト

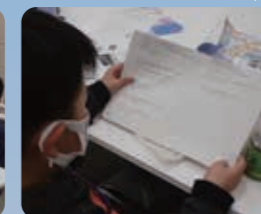


## 結団式・第1回事前学習会 令和3年11月5日(金)

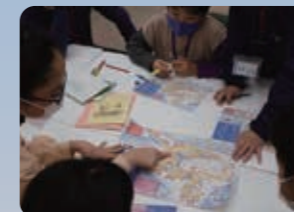
この日が初めての顔合わせ。自己紹介などを通じて一緒に学ぶ仲間や先生と交流を図り、名寄の気候や農作物、文化、歴史など様々なことを学びます。



## 第2回事前学習会 令和3年12月7日(火)



第2回事前学習会では、学習課題の解決に向けて、自ら考え仲間と共有します。また、グループで旭山動物園での行動計画を立てます。



## 名寄派遣 第1日目 令和3年12月25日(土)

区役所での出発式のあとは、早速、北海道名寄市へ向かいます。これからの3日間では、名寄の皆さんに話を聞いたり観察・調査・実験をするなどして、事前に決めた学習課題について解決に取り組めます。



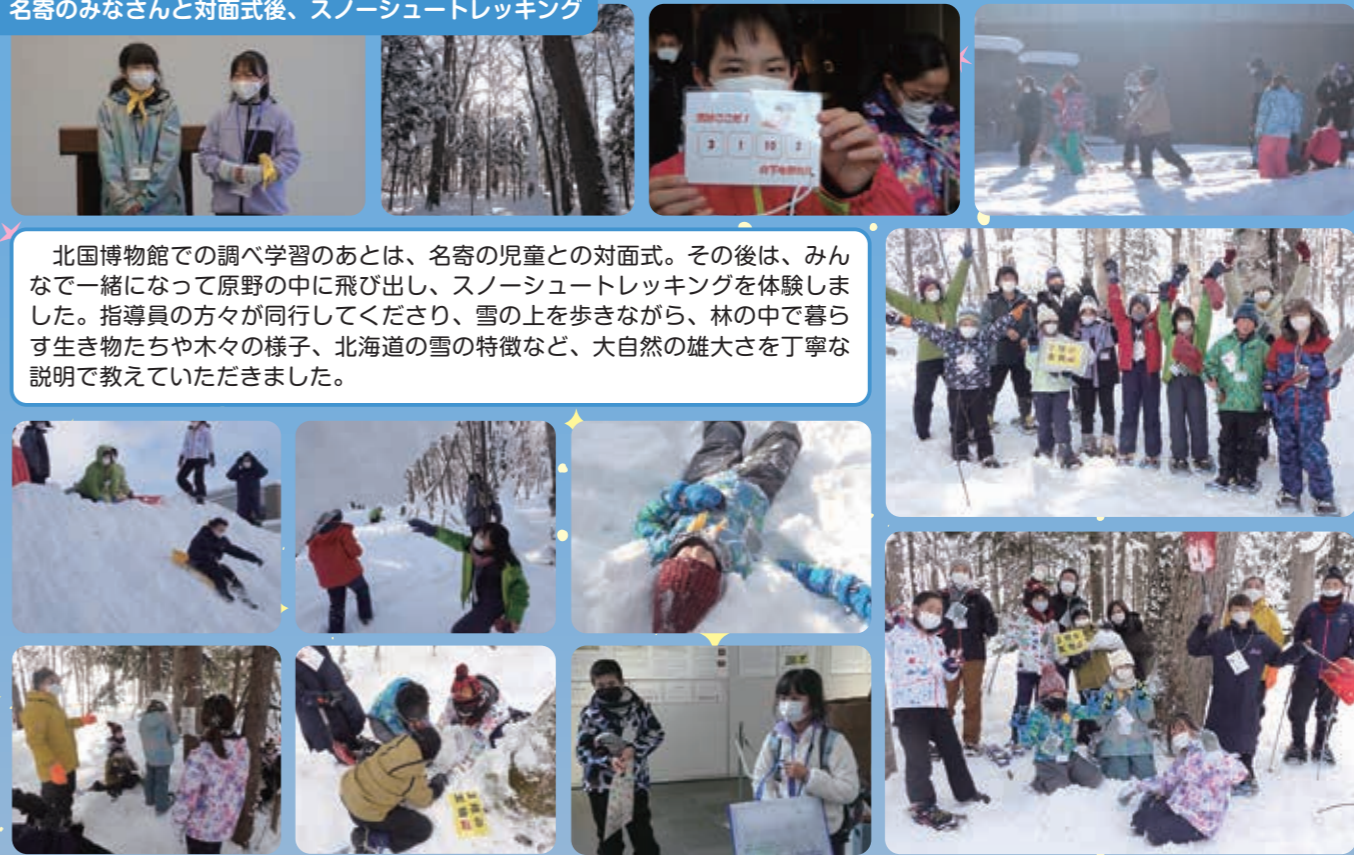
森の休暇村コテージ到着・きたすばるで天体観測



アイスクリーム作り



名寄のみなさんと対面後、スノーシュートレッキング



北国博物館での調べ学習のあとは、名寄の児童との対面式。その後は、みんなで一緒になって原野の中に飛び出し、スノーシュートレッキングを体験しました。指導員の方々が同行してくださり、雪の上を歩きながら、林の中で暮らす生き物たちや木々の様子、北海道の雪の特徴など、大自然の雄大さを丁寧な説明で教えていただきました。



名寄派遣 第2日目 令和3年12月26日(日)



名寄市北国博物館での調べ学習



名寄市北国博物館では、「名寄の気候・地形・動植物」についてや、「大昔から現在までの人々の生活」について館長や学芸員の方から学びました。

カーリング体験



サンピラー交流館では、初めてのカーリング体験。コーチの丁寧な指導のもと、最後には簡単なゲームも楽しみました。体を動かしながら地元の方々とふれあい、貴重な体験となりました。その後は、名寄市立天文台「きたすばる」へ移動して、プラネタリウム鑑賞をしました。

きたすばる・天体観測





# 名寄派遣 第3日目 令和3年12月27日(月)



名寄のみなさまによる見送り式



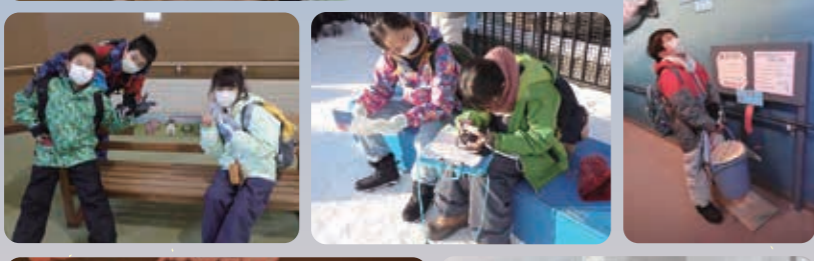
名寄市を出発する私たちを、北国博物館長をはじめ、お世話になった名寄の方々が見送りに来てくださり、温かな言葉をいただきました。途中、道の駅でお土産の買い物をし、旭山動物園へ向かいました。旭山動物園では、学習・行動班ごとに自分たちで考えたルートで行動し、見学をしました。



旭山動物園でのグループ行動



到着式



## 派遣児童の作文・作品

学校名	方南小学校	氏名	笠井 拓実
-----	-------	----	-------

### 北海道の寒さや雪に対する生活の工夫について

僕は北海道の名寄市の寒さや雪に対する生活の工夫について、東京との違いに注目して調べてみました。

まず「名寄の寒さに対する家の工夫」についてです。窓は二重サッシに、玄関も二重になっていました。名寄は冬がとても寒いので窓や玄関を二重にすることで、部屋の暖かい空気を逃がさないように、外の冷たい空気が部屋に入らないようにしていました。玄関が二重だと玄関に入る前に靴についた雪を落とせ玄関が濡れることを防ぎます。

次に「名寄の雪に対する家の工夫」についてです。名寄の建物の屋根は平らなものが多かったです。雪国の平らな屋根は「無落雪屋根」といいます。東京のように三角の屋根だと屋根に登って雪おろしをするのは大変です。雪おろし中の事故もあるし、屋根から落ちた雪が邪魔になりドアが開かなくなったり、下を通っていた歩行者が落ちてきた雪でケガをする危険もあります。屋根に融雪パイプをつけて屋根の上で雪を解かす方法などもあるそうです。平らな屋根は雪おろしや雪かきをする手間を省く事ができます。

「名寄の家の暖房」についても工夫がありました。名寄の家には灯油のタンクがあることが多いです。宿泊したコテージでは一日中暖房はつけたままで、灯油ストーブも二つありました。暖房には東京のようにエアコンはあまり使わず、灯油ストーブを使うことが多いそうです。ポリタンクで灯油を給油するのはとても大変なので、大きなタンクと家の中のストーブを直接つないで暖房に使います。名寄では夏は涼しいのでクーラーがない家も多いそうです。灯油を売っているコンビニがあると聞いて驚きました。

次に「名寄の雪に対する道路の工夫」です。積もった雪の重さで信号機が壊れないように専用の信号が縦になっていました。また、道路に雪が積もっても車を安全に運転できるように、停止線と一緒に標識も建っています。他にも車道と歩道がわかりやすいように「矢羽根」といわれる矢印の標識が道路の上に並んでいたり、歩道にそって赤白の棒が立っていたりしていました。

最後に「名寄の雪との戦い」についてです。雪が積もると車が乗れなくなるので、十センチ以上の積雪があると夜の間にはたくさんの除雪車が一齐に出動し、朝までに大きな道路の雪はすべて取り除きます。また、雪かきをした雪が邪魔になるので、雪を捨てる専用の場所があり、名寄市内には十ヶ所以上設置されています。

名寄市にいた間、気温はずっとマイナスでとても寒かったです。雪がたくさん降っても外が寒くても、暖かく安全に暮らすための雪国の工夫をいろいろ見つけることができ、とても勉強になりました。



学校名	堀之内小学校	氏名	神本 一龍
-----	--------	----	-------

### アイヌ文化について

僕が、北海道に行けて楽しかったこと、嬉しかったことの一つ目は、雪の多さです。何十センチも積もっている雪は、雪合戦をしても、まだまだたくさんあるきれいな雪のおかげで、ずっと楽しんでいられました。

二つ目は、北海道の気温に驚きました。お湯で濡らしたタオルをふれば、一分もたたずにカチコチになりました。また、バナナを凍らせて、ゴムの板に釘を打つという実験もしました。見事に、トントンと音を立てながら、少しずつ刺さっていきました。

三つ目は、雪の柔らかさです。名寄の雪は、粉雪で固まりにくく、雪玉を作るには、強く握らなければなりません。でも軽くて風にのせると、遠くに投げれるので、雪合戦の時はとても楽しかったです。

今回僕が、名寄の体験学習に応募したのはアイヌについて学びたかったからです。アイヌは、大自然と共に生きてきた民族です。人間を取り巻く全てのものが「カムイ（神さま）」であると信じていました。

火や水、樹木、動物、雷などの自然現象、さらには船や食器といった生活用具もカムイと考え敬いました。そして、豊かな恵みをもたらしてくれるカムイに日々感謝して生きてきたそうです。僕たちはつい最近、エスディーズと言ってゴミを減らすようになりました。しかし、アイヌはずっと昔からこの活動をしていたのです。僕は、アイヌを見習い、ゴミを減らし、無駄なく物を使って環境を守りたいと思いました。

こうして振り返ってみると、最初は一緒に行く友達たちを見て、緊張していましたが、一緒に行ってみると、緊張なんて吹っ飛び、楽しさでいっぱい三日間でした。人生で一番の思い出を作ることができ、参加できてよかったです。

アイヌ文化について

アイヌ語

アイヌ語は「カムイ」と呼ばれる自然の神に由来しています。アイヌの人々は自然の恵みを受けて生きています。アイヌ語には「カムイ」と呼ばれる自然の神の概念があり、アイヌの人々は自然の恵みを受けて生きています。

アイヌ文化について

1 カムイ（神）

アイヌは全てのものに神がいるという考え方を持っています。

アイヌ語

アイヌ語は「カムイ」と呼ばれる自然の神に由来しています。アイヌの人々は自然の恵みを受けて生きています。アイヌ語には「カムイ」と呼ばれる自然の神の概念があり、アイヌの人々は自然の恵みを受けて生きています。

アイヌ文化について

2 暮らし

アイヌの人々はアイヌ語で「ササ」と呼ばれる自然の恵みを受けて生きています。アイヌ語には「カムイ」と呼ばれる自然の神の概念があり、アイヌの人々は自然の恵みを受けて生きています。

アイヌ文化について

3 アイヌ語について

アイヌ語はアイヌ語が由来している言葉です。アイヌ語には「カムイ」と呼ばれる自然の神の概念があり、アイヌの人々は自然の恵みを受けて生きています。

学校名	杉並第三小学校	氏名	木村 駿介
-----	---------	----	-------

### 小学生名寄自然体験交流事業で学んだ事

ぼくは、動物に関係するものについて体験したり家で調べたりしたものをまとめることをテーマにして小学生名寄自然体験交流事業でたくさんのことを、学びました。まず旭山動物園は、どんな所なのかを説明します。場所は北海道旭川市東旭川町倉にあります。面積は、約十五万平方メートルです。冬期の開園時間は午前10時30分から午後3時30分までです。次に雪の中の動物たちの紹介をします。最初に紹介するのは、キングペンギン・ジェンツーペンギン・フルボルトペンギン・イワトビペンギンです。旭山動物園のキングペンギン・ジェンツーペンギン・イワトビペンギン・フルボルトペンギンをよく観察していると、両足をそろえて飛びはねながら移動しているペンギンがいることに気づきました。でもなぜそんな歩き方をしているのかは、分かりませんでした。なので今度予定がないときに調べてみようと思います。あと観察している時にもう一つ気づいたことがあります。それは、ペンギンの体のわりにくちばしが長いということです。動物園に行く前にイメージしていたペンギンはくちばしが短いペンギンだったのでしょげきてきてました。次に紹介するのは、ダチョウです。旭山動物園のダチョウは観察しようとして、ダチョウの近くに行きだしたら、あばれ出して、びっくりしました。そしてダチョウがぼくに近づいてガラスにくちばしをなんどもはげしくぶつけていました。動物園に行く前にイメージしていたのは、とてもおとなしいダチョウだったので、とてもしょげきてきてました。ダチョウのたまごも、もってみました。鳥にしては、大きいたまごもってみるとにわどりのたまごとは、くらべものにならないくらい重いたまごでした。

最後に紹介する動物は、エゾユキウサギです。さくの中を見ても最初どこにいるか分かりませんでした。見つかったときはなんでさっきまで、気づかなかったのだろうと思いました。観察していると、目と耳の先の方だけが黒くてあとはまっ白でした。しかも雪の色とウサギの白い所の色がほとんど同じなので、エゾユキウサギがどこにいるのかが、分かりにくい理由が分かりました。

ぼくは、くわしい動物のことを知らなかったので動物のくわしいことが、だいたい分かってよかったです。小学生名寄自然体験交流事業で、動物の事をふくめていろいろなことを覚えられたので行ってもよかったですと思いました。

小学生名寄自然体験交流事業で学んだ事

旭山動物園で学んだ事

場所 北海道旭川市東旭川町倉

面積 約15000平方メートル

開園時間(冬期) 午前10時30分～午後3時30分

雪の中の動物たち

寒い雪の中で元気に暮らしている動物たちを紹介しよう。

キングペンギン・ジェンツーペンギン・フルボルトペンギン・イワトビペンギン

旭山動物園のペンギン色は白と黒の両足をそろえて飛びはねながら移動しているペンギンもいること気づきました。でもなぜそんな歩き方をしているのかは、まだ分かりません。なので今度予定がないときに調べてみようと思います。

ペンギンの体のわりにくちばしが長いことに気づきました。動物園に行く前にイメージしていたペンギンはくちばしが短いペンギンだったのでしょげきてきてました。

小学生名寄自然体験交流事業で学んだ事

ダチョウを観察しようとして、ダチョウの近くに行きだしたら、あばれ出して、びっくりしました。そしてダチョウがぼくに近づいてガラスにくちばしをなんどもはげしくぶつけていました。動物園に行く前にイメージしていたのは、とてもおとなしいダチョウだったので、とてもしょげきてきてました。

エゾユキウサギ

さくの中を見ても最初どこにいるか分かりませんでした。見つかったときはなんでさっきまで、気づかなかったのだろうと思いました。観察していると、目と耳の先の方だけが黒くてあとはまっ白でした。しかも雪の色とウサギの白い所の色がほとんど同じなので、エゾユキウサギがどこにいるのかが、分かりにくい理由が分かりました。

学校名	桃井第三小学校	氏名	永井 美音
-----	---------	----	-------

### 名寄の雪

名寄市に着いてまず圧倒されたのが沢山の雪でした。その雪は、雪玉にしようと握っても、両手の中でサラサラとして、固める事ができませんでした。それは私にとって初めての感覚でした。

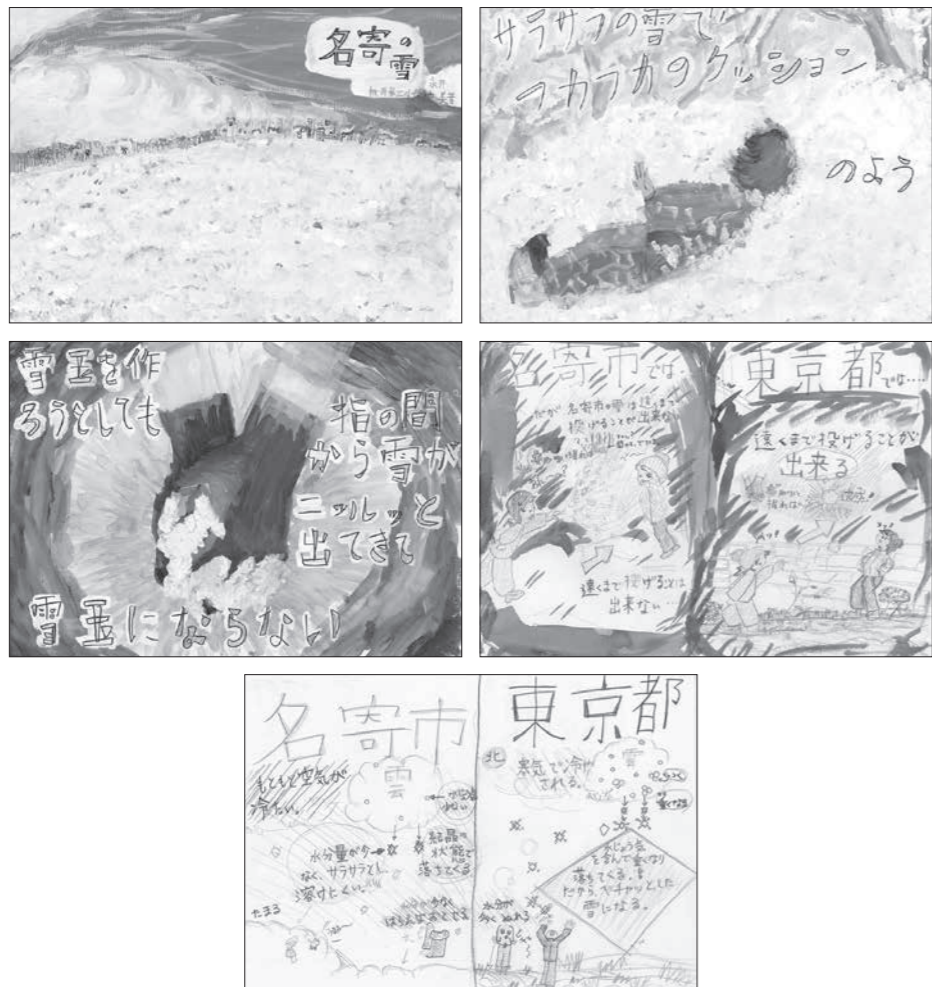
これまで、長野県や新潟県のスキー場に行った事がありますが、名寄の雪とは違ってぬれている感じでした。その雪は、両手でギュッと握れば固い雪玉を作る事ができました。

先日、杉並区でも雪が降りましたが、すぐベチャツとして水っぽくすぐ溶けるか、シャーベットのようになり、凍りついていました。名寄の雪にはそんな所はなく、雪の上に座ってみると、フカフカのクッションの様で体が埋もれてしまいます。そして不思議な事に温かく感じます。そういえば北国博物館でいろいろな冬の生活道具を見てきましたが、その中に屋根を雪でおおって家の中を温かくする工夫も紹介されていました。

なぜ雪の感じがこれ程違うのかとても気になったので調べてみました。東京都の雪は、もともと温かった雲が北からの寒気で冷やされて、大量に水じょう気を含んだ雪を降らせるのです。そのため、水分量の多いベチャツとした雪になるのです。

一方、北海道は空気もともと冷たいため空気中に含まれる水じょう気が少なく雪の粒が小さいサラサラとした結晶の状態です。

今回、「小学生名寄自然体験交流」に参加できた事で、ふだんでは体験できない気候を直に感じられて良い経験になったと思います。



学校名	井荻小学校	氏名	松井 知代子
-----	-------	----	--------

### 名寄とリンゼイ

私は雪が好きです。でも東京はほとんど雪が積もりません。日本一の雪質を誇るという名寄に実際に行き、雪遊びをしたり、雪国でのプチ体験したりすることができ、本当にいい思い出ができました。

調べ学習では名寄とリンゼイの暮らしの違い、名寄の環境への取り組みについて調べました。カナダのリンゼイは、1969年に名寄と姉妹都市となっており、緯度が近いということから気候に着目して、暮らしを比べてみようと思いました。

住宅屋根、道路、そして信号機の種類などは、私が名寄で見たものと、調査したリンゼイでのものはほとんど同じのようです。しかし同じ緯度なのに降雪量が名寄の方が多いということがわかりました。

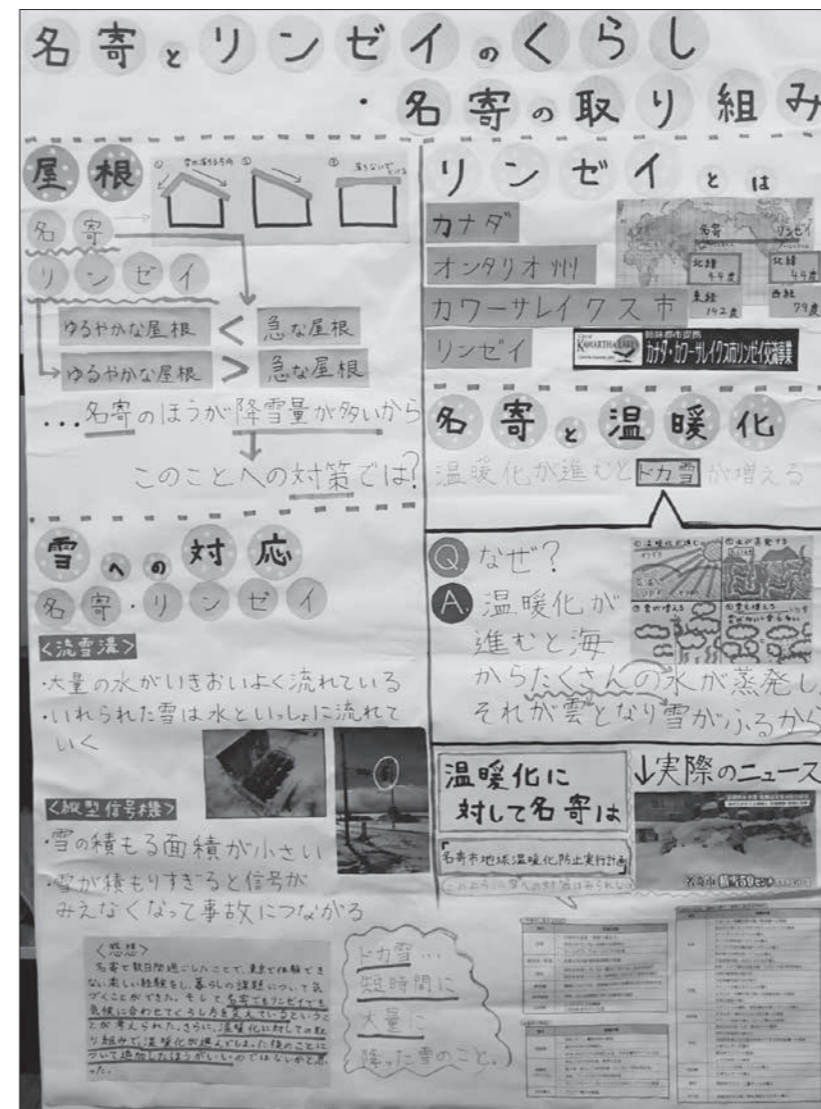
名寄の家の屋根は、大きく傾きが急で、東京ではほとんど見たことがありません。また、道のあちこちに流雪溝がありました。東京の私の家の前の流雪溝は口が小さく、大雨が降るとすぐ水たまりになります。信号は雪が積もりにくい縦型信号機をよく見かけましたが、東京では縦型信号機は横断歩道でしか見かけません。この様に、降雪を意識した街づくりとなっていることがわかりました。

次に、名寄の環境への取り組みについて注目しました。北国では温暖化が進むと、ドカ雪が増えます。温暖化が進むと水温が上昇し、海からたくさんの水が蒸発し、それが厚い雲となり、氷点下の地域では

ドカ雪となります。私が名寄に行った3日間は毎日天気良かったのですが、行く1ヶ月前にドカ雪があったというニュースを見かけました。最近こういったニュースが増えたと思います。

温暖化に対して名寄は、「名寄市地球温暖化防止実行計画」を立てており、温室効果ガス排出抑制のための取り組みとして、節電や3Rのうちのリデュース、太陽光パネルの導入などを行っているようです。しかし、温暖化によって発生する問題への対策が無かったため、ドカ雪などへの対策を立てた方がいいのではと思いました。

名寄で楽しい思い出を作ることができましたが、調べ学習を通して暮らしの課題についても気づくことができました。場所によって温暖化対策はちがうと思うので、これからも注目して、何が出来るのか考えていきたいです。





学校名	杉並第十小学校	氏名	成川 怜奈
-----	---------	----	-------

### 北海道の動物と自然について

#### 学習課題 1、北海道の夏と冬の動物について

今回の体験交流では野生動物に出会うことができませんでした。スノーシュートレッキングできつねの足あとを見ることができました。なぜあちこちに足あとがあるのか気になったのでガイドさんに聞いてみたところ「それは、きつねが決まった時間にネズミを追いかけた後だよ」と教えていただきました。スノーシュートレッキングでは動物を見ることができなかったのが旭山動物園で学習課題を解決することができればいいなと思いました。旭山動物園では夏に野生で見たエゾヒグマ、キタキツネ、エゾシカ、シマフクロウを調べようと思いました。

学習課題の答えは、エゾヒグマは冬眠するので冬の野生では見られない。キタキツネは足あとを実際に見ることができたので冬も活発に動いていることが分かりました。エゾシカとシマフクロウは今回の体験交流では分かりませんでした。

#### 学習課題 2、名寄市の特徴（杉並区との違い）

##### 1、星が数多く見える

杉並区と比べて野外の光が少なく、星の見える時間が長く感じました。東京では街灯やお店の電気が多いため、外が明るく星が見えづらいと思いました。

##### 2、スーパーなどのお店が少ない

住民が少ないからだと考えました。杉並区の人口は 569,703 人、名寄市の人口 26,710 人です。この

ように杉並区の人口は名寄市の約 21 倍だと分かりました。お店が少ないということになっとくがいきます。

##### 3、川が多い

理由は分かりませんでした。

##### 4、雪がサラサラ

杉並区の雪はぼたん雪、名寄市の雪は粉雪。粉雪とはギュッとにぎっても固まらない雪、歩いた時はフワッとした感覚があり、場所によって雪の種類が違うことが分かりました。

##### 5、気温の違い

名寄市は氷点下の気温でしたが杉並区は氷点下になることが少ないです。水にぬれたタオルを外で振り回す実験をしたところタオルはまっすぐに約 2 分間で固まり、とてもおどろきました。

北海道の動物と自然について  
学習/行動班 2班  
杉並区立杉並第十小学校 5年  
成川 怜奈

学習課題  
1、北海道の夏と冬の動物について  
2、名寄市の特徴（杉並区との違い）

学習課題 1、北海道の夏と冬の動物について

学習課題 2、名寄市の特徴（杉並区との違い）  
1、星が数多く見える  
2、スーパーなどのお店が少ない  
3、川が多い  
4、雪がサラサラ  
5、気温の違い

雪のできかた  
① 水の結晶ができる  
② 水蒸気が付着して、結晶が成長する  
③ 結晶同士がくっついて雪片になる

濡れタオルを振り回してみると…  
固まった！

ありがとうございました  
参考  
ウォーニャーズ  
天候ドットコム  
各自自治体ホームページ  
旭山動物園

学校名	高井戸小学校	氏名	西山 康太
-----	--------	----	-------

### 名寄市で学んだ事

僕が名寄市に興味を持ったことは、サンピラー現象という自然現象についてです。僕がそれに興味を持った理由は、サンピラー現象というのは、北海道の中でも気温が低くて、雪質が良いところでしか見られないからです。

サンピラー現象が起きるのは、冬場のよく晴れた日に、気温がマイナス 20 度以下になる朝、大気中の水蒸気が氷結して、ダイヤモンドダストができます。そのダイヤモンドダストが太陽光に反射されて太陽の柱のようなものが見えます。これがサンピラー現象といいます。

ただ、サンピラー現象は、朝と夜の寒暖差が激しいことと、ダイヤモンドダストが発生していないと見る事ができません。なので、とても珍しく貴重な現象で、その地域に住んでいる人でもなかなか見ることができないと言われていました。あまりの珍しさに見た人からは、「天災が起こるのでは」とか、または「幸せな事が起きるのでは」と言われる、神秘的な現象です。

だから僕は、名寄市にいる三日間で見られるかどうか楽しみにしていたけれども、残念ながら実際には見ることはできませんでした。だけれども、本来のサンピラー現象に近いものは見ることはできました。北国博物館に行った時に聞いた話で、サンピラー現象にはいくつか種類があるらしく、ダイヤモンドダストが発生していれば自動車のライトや懐中電灯でも小さなサンピラー現象が発生することがあると聞

きました。僕が実際に見たものも、自動車のライトによるものです。それは、ダイヤモンドダストが自動車のライトに反射して、自動車の前方に小さな柱のようなものが二つ見えました。その柱の色は、白くて、何台ものスマートフォンのライトを一か所に集めたような明るさでした。この自動車のライトによる小さなサンピラー現象は、まるで物語の世界にいるような美しい光でした。本来の太陽光によるサンピラー現象は見られなかったけれどもいつか必ず自分の目で見てみたいです。

サンピラー現象とは  
北海道の中でも気温が低くて雪質が良いところで見ることができない現象です。  
冬場のよく晴れた日に、-20℃以下になる朝、大気中にできたダイヤモンドダストが太陽光に反射されてきた太陽の柱のような現象です。

サンピラー現象のできかた  
①大気中の水蒸気が氷結してダイヤモンドダストができる  
②ダイヤモンドダストが太陽に反射される  
③太陽の柱のようなものが見える

サンピラー現象ができる条件  
・朝と夜の寒暖差が激しいこと  
・ダイヤモンドダストが発生していること

北国博物館で聞いた話  
北国博物館で聞いた話では、サンピラー現象にはいくつか種類があり、自動車のライト、懐中電灯でも小さなサンピラー現象が発生することがあると聞きました。

まとめ  
この自動車のライトによる小さなサンピラー現象は、まるで物語の世界にいるような美しい光でした。本来の太陽光によるサンピラー現象は、見られなかったけれどもいつか必ず自分の目で見てみたいです。

僕が実際に見たものは、自動車のライトによるものです。  
①ダイヤモンドダストが発生する  
②ダイヤモンドダストが自動車のライトに反射する  
③白い光の柱のようなものが見える

学校名	杉並第六小学校	氏名	野中 嘉映
-----	---------	----	-------

### ペンギンの生態

私は、名寄自然体験交流の三日目に旭山動物園に行っている動物を見てペンギンについてまとめました。

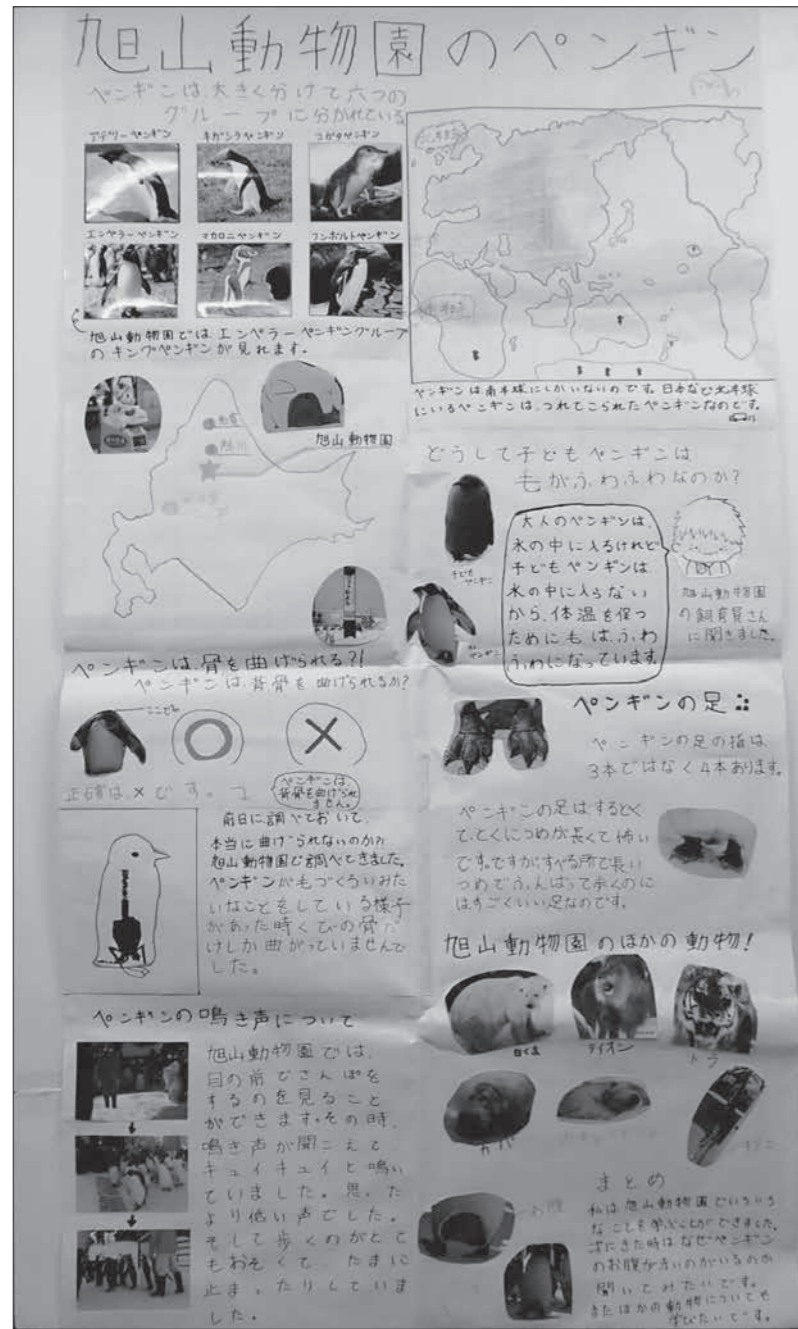
ペンギンは、大きく分けて六つのグループに分かれています。その内のエンペラーペンギングループのキングペンギンは、旭山動物園で見ることができました。じつは、ペンギンは、南半球にしかなく日本は、北半球なのでつれてこられたペンギンなのです。

前から、子どもペンギンは、なぜふわふわなのか不思議に思っていたのでペンギンの飼育員さんに聞いてみました。そうしたら、子どもペンギンは、水の中を泳がないから、体温を保つために毛がふわふわになっているとおしてもらいました。そのほかにも、ペンギンの足は、3本ではなく4本だということも学びました。旭山動物園では、目の前でペンギンの散歩を見ることができました。鳴き声がキュイキュイと聞こえました。高い声だと思っていたけれど本当は、低い声だったのでおもしろいなと思いました。目の前でペンギンが毛づくろいをしていた時くびの骨しか曲がっていなかったの

で調べたとうり背骨が曲がらないことがわかりました。もっというろんなことを聞きたかったけれど時間がなかったので大人になったら、向こうで散歩の時立ち止まるのか？とかなぜおなか赤いペンギンがいるのは、どうしてなのか聞きたいです。そして他の動物で、白ふくろうや白くま、カバ、ホワイトタイガーも調べてみたいです。

そのほかにも北国博物館に行つて昔の動物の生き方や何万年前にいたのかなどもおしてもらい、昔は、北海道と今の青森が繋がっていたこともわかりました。そして、天文台では、土星、木星、金星なども見ることができてすごくキレイだなと思いました。

とてもたくさんのことが学べる事ができた3日間でした。本当にありがとうございました。



学校名	沓掛小学校	氏名	室屋 すみれ
-----	-------	----	--------

### 名寄の体験 冬の動物

今回名寄市へ行くことになり、自然や、動物のことを調べてみたいと思いました。名寄市ではサラサラな雪がたくさんふって、雪質日本一とされています。雪合戦の雪の玉を作るのもサラサラすぎて大変でした。友達と何度もした雪合戦や雪遊びがとても楽しくてもう一度もどってやりたいなと思います。気温はマイナス10度以下になることがあります、不思議と寒さを感じませんでした。

3日目、バスで旭山動物園へ向かいました。今回私が楽しみにしていた場所のひとつです。旭山動物園は日本で一番北にある動物園です。日本で一番北にある動物園ですから、寒冷地の動物がたくさんいました。ペンギンは午前中はお散歩をするなど活発でしたが、午後になると雪の上でじっとしていました。赤ちゃんは茶色の厚い毛におおわれてかわいかったです。ホッキョクグマは昼間は雪の上で眠ったりしてのんびりしていました。ホッキョクグマはエサとするアザラシが夜行性のため、夜になると活発に動き始める習性があるそうです。泳いでいるところも見たかったです。アムールトラは、トラの中で一番寒い地方に住み、一番大きいトラです。自然破かいのために絶めつ寸前です。でも、雪が積もる中、元気に歩いていました。ゴマフアザラシは円柱の水そうが有名で、下から上へ気持ちよさそうに泳いでいるのを見ました。エゾヒグマは私たちに興味があったのか、おなかをすかせていたのか、私たちの側まで出てきました。大きな体は迫力がありました。エゾシカは北海道に住むシカで、一時は絶めつ寸前となりましたが、今では北海道に約65万頭も生息しています。野生動物に会うことはできませんでしたが、名寄市にはたくさんの動物が生息しています。例えば、エゾリス、エゾタヌキ、エゾシカなどです。北海道を意味する「エゾ」が名前についていますが本州にはいなくて、北海道にしか生息していない動物たちです。

今回名寄市に行つて15人の友達とも、名寄市の小学生とも、すぐに仲良くなることができて、これからのいろいろな人と仲良くしていける自信ができました。私は名寄市に行けて本当にうれしかったです。このような体験をさせていただき本当にありがとうございました。



2班

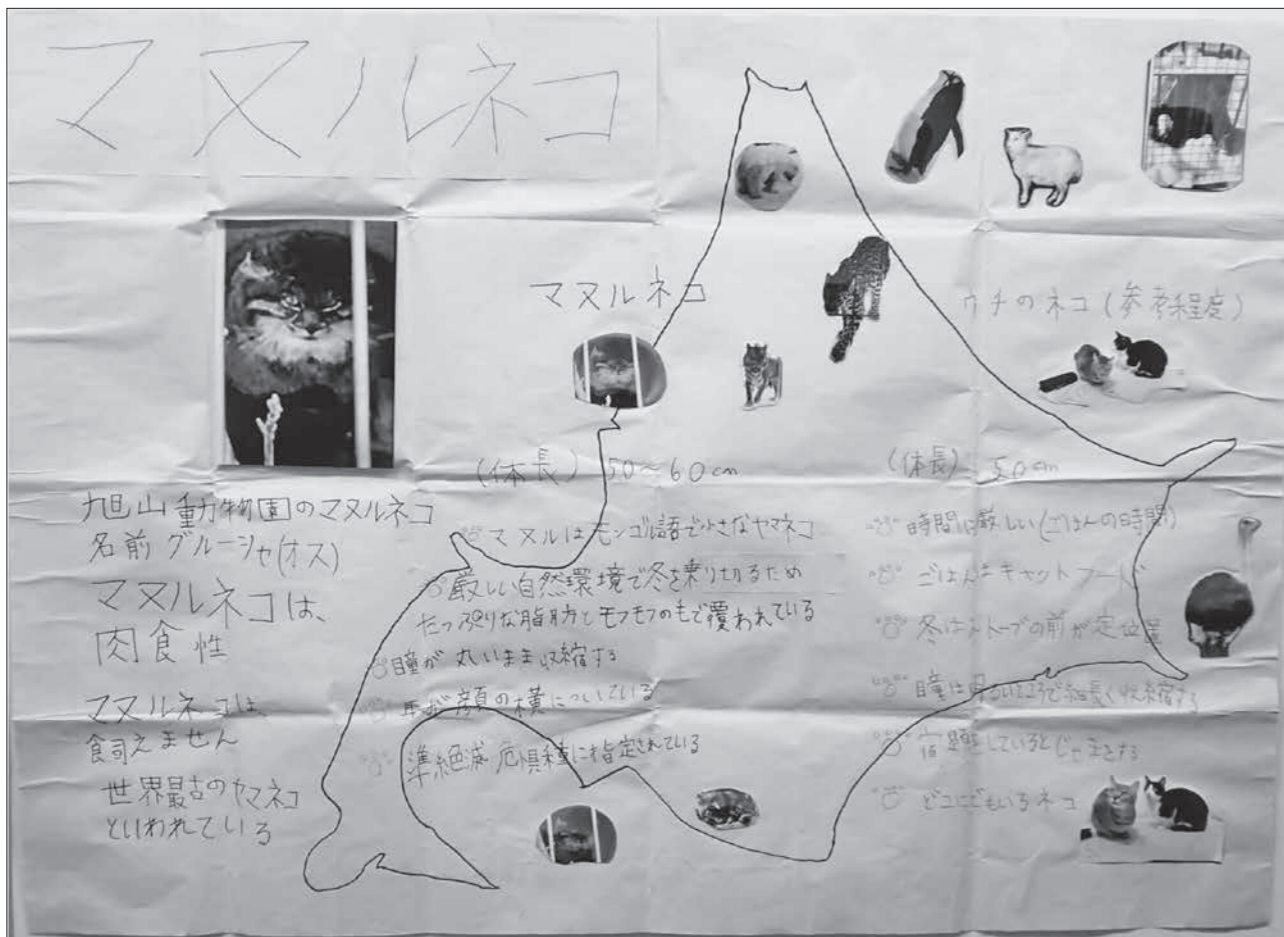
2班

学校名	桃井第五小学校	氏名	横山 桃李
-----	---------	----	-------

### マヌルネコ

ぼくは、旭山動物園に行き動物をたくさん見たけれど、とくに印象に残ったのは、マヌルネコでした。ぼくの家では、ネコを飼っているのですが、気がきになりマヌルネコについて調べました。ぼくが見たときは、うずくまっていたけれどふつうのネコよりも大きいと思います。次に体の毛の量と横はばはふつうのネコよりも多く大きかったです。マヌルネコの毛はふつうのネコよりも2倍ちかくありました。ぼくは横はばが大きいのではなく毛の量が多いから大きく見えるのだと思いました。でもなぜ毛の量が多いのかとぎもんに思い調べたところマヌルネコは、サバクに住んでいるから暑くても寒くても生きられるということが分かりました。でもマヌルネコとふつうのネコとでは、決定的なちがいがありそれは、瞳と耳です。ネコの瞳は、明るいところでは、細長く収縮するのに対し、マヌルネコは、丸い形のまま収縮します。次に耳です。ネコの耳は、顔の上についています。でもマヌルネコは、耳が顔の横についています。マヌルネコは、身の隠すところが少ない岩場のかげから獲物をのぞき見するときなどに耳が目立たなくなっていていい感じです。ですがマヌルネコのモフモフの毛がハンターに狙われ乱獲などのえいきょうで数が減少しており、国際自然保護連合のレッドリストで準絶滅危惧種に指定されている希少な野生ネコです。

ぼくは、この作文でマヌルネコのことを書いたけれど、名寄に行けたのもマヌルネコを見れたのも苦手だった作文にチャレンジしたからです。ぼくは、チャレンジすることは、すごく大切だと思いました。これからも名寄自然体験交流会をとおして学んだことを生かしていきたいです。



学校名	桃井第一小学校	氏名	上野 里緒
-----	---------	----	-------

### 名寄鈴石と高師小僧

みなさんは名寄鈴石と高師小僧について知っていますか？名寄鈴石と高師小僧は名寄市の指定文化財であり天然記念物です。

名寄鈴石とは、褐鉄鉱という鉱物の一種です。鉄さびの固まりのような色でほぼ丸く、ピンポン玉からこぶしほどまでの大きさです。約10万年前にできた丘陵や台地の土の中に産出します。でき方は、よく分かっていませんが土の中で鉄分と珪質分を多く含んだ浸透水が粘土や砂の周りについてふくらみまんじゅうのような構造になります。外の皮は固くなり内側の核となった粘土や砂がくずれてふると「カラカラ、シャンシャン」と音がするので「鈴石」と命名されました。

次に高師小僧とは褐鉄鉱の仲間の沼鉄鉱の一種です。鉄さびの固まりのような色で直径1～5cmほどの筒状の形をしており、長さは20cmになるものもあります。現在の地面を川が流れるようになった数万年前から川床の粘土中に産出します。でき方は、粘土中に生えた植物の根や茎に土の中に溶けた鉄分が粘土や小石とともに付着し、棒状に大きくなったものです。核となった植物の根茎は腐食してなくなり、細い穴が貫通しているのが特徴です。

最後に私は、この名寄自然体験交流を終えてたくさんのことを実感しました。私が名寄自然体験交流に行こうと思った理由は、私は小さいころから団体キャンプに参加したくさんの自然にふれあってきました。ですが冬の北海道には行ったことがないため北海道名寄市へ行って学ぼうと思いました。自然が好きな私は、北海道名寄市の自然について学びたくなり高師小僧と名寄鈴石についてしらべようと思ったからです。

#### はじめ

みなさんは、名寄鈴石と高師小僧について知っていますか？  
私が名寄自然体験交流に行こうと思った理由は小さい頃からたくさんの自然に触れあってきたからです。ですが、冬の北海道には行ったことがなかったため北海道名寄市に行って学ぼうと思いました。自然が好きな私は北海道名寄市の自然について学びたくなり、名寄鈴石と高師小僧について調べようと思いました。

#### 天然記念物 名寄鈴石

褐鉄鋼(かってつこう)という鉱物の一種。鉄さびのような色で丸く、ピンポン玉からこぶしほどの大きさです。約10万年前にできた丘陵や台地の土の中に産出します。できかたは、よくわかっていませんが土の中で鉄分と珪質分を多く含んだ浸透水が粘土や砂の周りについてふくらみ、まんじゅうのような構造になります。外の皮は固くなり内側の核となった粘土や砂がくずれて、振ると「カラカラ、シャンシャン」と音がするので「鈴石」と命名されました。

#### 天然記念物 高師小僧

褐鉄鋼の仲間の沼鉄鋼の一種。鉄さびの固まりのような色で直径1～5cmほどの筒状の形をしており長さは20cmになるものもあります。今の地面を川が流れるようになったころ(数万年前)からの川床の粘土中に産出します出来方は粘土中に生えた植物の根や茎に土の中に溶けた鉄分が粘土小石と、ともに付着し、棒状に大きくなったものです。核となった植物の根や茎は腐食してなくなり、細い穴が貫通しているのが特徴です。

#### まとめ

私が、この名寄自然体験交流を終えて感じたことは、同じ国でも場所が違えば環境も違っているということです。東京と、北海道の冬の寒さ、その暮らしは、全く異なっています。ですから冬の北海道の環境だからこそできるものがあるということを知ることができ、面白いと思いました。

2班

3班

学校名	富士見丘小学校	氏名	岡本 真衣子
-----	---------	----	--------

名寄紀行。

私は今回の名寄市自然体験学習の募集で、初めて名寄を知りました。事前学習で、天文台や、動物園などの事を調べていくうちに行きたい気持ちが強くなりました。作品は、次に行く人たちが、行きたくなるようなものにしました。

まずは、杉並区と名寄市のちがいです。杉並区の私は、長そで、パーカー、Gパン、これくらいしか着ていないのですが、一方名寄市は最高気温でも、12月は-2℃なので図のような服装をしないと、外には出れません。特に必要だと思ったのは、スキーウェアです。ずっと着ているとだんだん温かくなってきます。飛行機から見ると、東京は建物がたくさんあったのに対して、名寄市は真っ白な雪景色でした。別世界で圧倒されました。

次は行って見たかった天文台きたすばるです。ピリカ望遠鏡は、公開天文台としては日本で2番目に大きな口径で、暗い天体まではっきりと見えます。天文台から見たものは色々ありますが、その中で私が印象に残ったのは土星と木星です。土星はわかっがはっきり見えました。わかっは氷でできていて、太陽に反射して光っています。木星には周りに四つの星がありました。木星は肉眼で見えました。図かんで見ていた星が見れて感動しました。

次は動物園です。かわいい動物がたくさんいました。カバにおしりを向けられると要注意です。まきふんといって、しっぽを使ってふんをまき散らします。ホッキョクグツネは寒さに強く、-70度で寒がる程度です。-80度でもたえることができます。テナガザルはブラキエーションといって、木の枝から枝へと飛びうつることをします。テナガザルほどブラキエーションをすばやくできる動物はいません。小屋の中はブラキエーションができるように工夫されていました。名寄市は、天文台や動物園、食べ物などのみ力が多く、市民の人達がリサイクルなどに力を入れて自然を大切にしているところだとわかりました。

家族に名寄市のことを話し、み力が伝わり、話しだけではなく、実際に見てほしいと思いました。

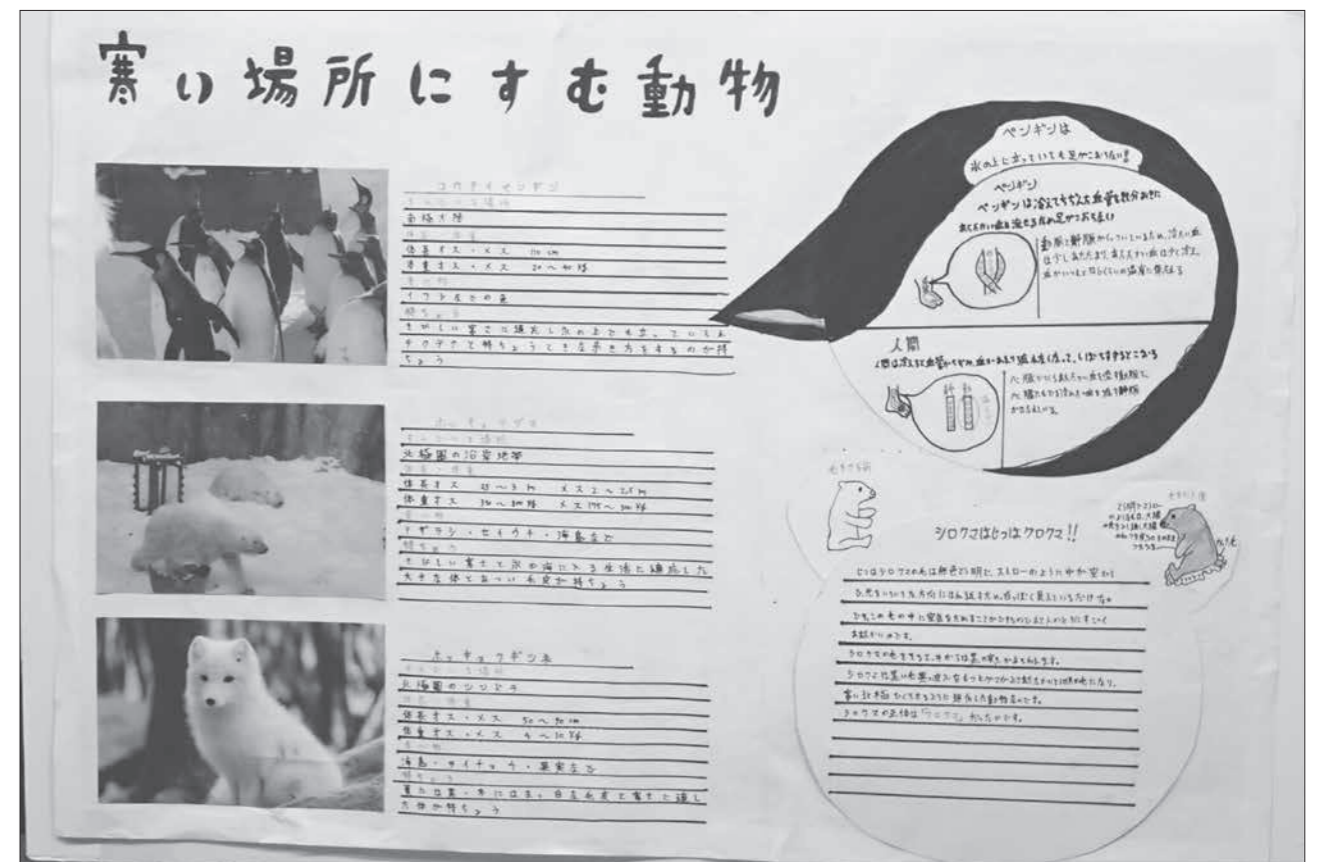


学校名	高円寺学園	氏名	小口 佑
-----	-------	----	------

すごく楽しかった名寄自然体験交流事業

私は、名寄自然体験交流事業で、名寄に行く前にきめていた学習課題は、北海道の自然や動物についてです。北海道の自然は、東京ではぜったい見られない景色で、すごくびっくりしました。スノーシュートレッキングでは、林の中をみんなといっしょにあるいて、学習課題が自然と動物なので、自然のことをメモに取ろうと思いましたが、遊びけいしきにやっていたので、メモにとることがまったくできませんでした。そして、最終日楽しみにしていた旭山動物園ではおもに、北海道の動物は、どのようにして、冬を過ごしているのかを学習課題にし、メモを取って学習課題を達成できるように、私なりにがんばりました。そして私が一番印象に残っている動物はペンギンです。どうしてかと言うと、ペンギンのお散歩で歩いているのがすごくカワイかったからです。ペンギン館の中に入ると色々な種類のペンギンがいました。そしてペンギンのひなはどうしてなくのかと思っていたとき、ないてくれたのですごくうれしかったです。そのほかにも、名寄市児童といっしょにたからさがしけい式で、スノーシュートレッキングをしました。カードに書いてある場所に名寄市の子たちといっしょに行くうちにだんだん、たからがある場所がわかってきたので、もりあがりました。そしてついに最終のシールをゲットしてたからの場所がわかったので、たからの場所をほったら、カステラときびだんごと言う北海道にしかないおかしだったので飛行機の中で、おいしく食べました。その後きたすばる天文台でおみやげを買い、その後に星を見る予定でしたが天気が悪くなったので、プラネタリウムになりました。さらに、北海道の星について深くすることができたので勉強になりました。

名寄自然体験交流事業に参加できないと思っていたので、行ける事になった時はすごくうれしかったです。こんなきょうな経験ができてよかったです。また北海道名寄市に行きたいです。



3班

3班

学校名	西田小学校	氏名	田端 玲咲
-----	-------	----	-------

### 寒い地域で暮らす知恵

私は、名寄自然体験交流事業で旭山動物園に行きました。旭山動物園では、ほとんどの動物が冷たい雪の上で生活していました。ただでさえ気温が低いのによく動じずに雪の上で生活できるのかとても気になり調べました。

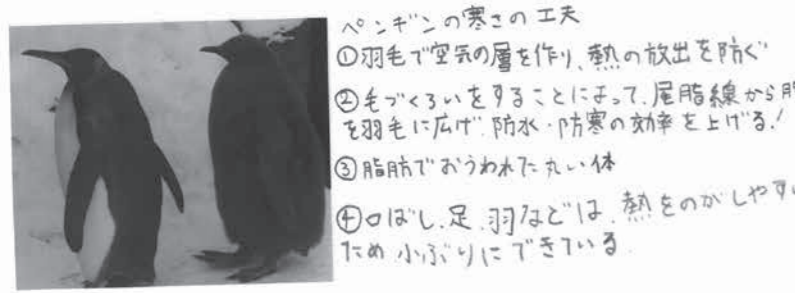
まずペンギンについてです。ペンギンは、空気の層をつくり、熱の放出を防ぎさらに、毛づくろいをする事によって、尾脂腺から分泌された脂分を羽毛に広げ、防水、防寒の効率をあげています。また脂肪でおおわれた丸い体も体温保持の点で有利です。くちばし、足、羽等の末端部分は、熱そのものをにがしやすい箇所なので小ぶりに出来ています。シロクマもまた、耳を小さくして、体温の放出を押さえています。体は分厚い脂肪、そしてその上を長い体毛でおおわれています。この毛は、一本一本中が空洞になっており、すぐれた耐熱、保温性能をもっています。また地肌は、日の光を届かせるため透明(なぜ白く見えるのかは、光が屈折しているから)になっています。地肌は黒く、これは、太陽光からの熱吸収率を向上させるためと

いわれています。

その他にも、北海道で暮らす動物をしらべました。調べたのはエゾリスです。エゾリスはキタリスの亜種で北海道の固有種です。体長は20~25cmほどで冬眠をしないため、秋になると冬毛になり、耳先の毛が長くのびます。以上が私のしらべたことです。

シロクマとペンギンを調べてみて寒さをしのぐためには、自分で考え行動するのはかっこいいのだなと思いました。旭山動物園に行き、自分でなんでだろうと思つた事を調べ、かいつできて、私は少し成長したなと思うことができたので、自分の目標はたっせいできたかなと思います。そしてこの名寄自然体験交流事業に参加させて頂けた事をかんしゃしています。ありがとうございました。

動物たちの寒さの工夫 ~北海道~




ペンギンの寒さの工夫

- ①羽毛で空気の層を作り、熱の放出を防ぐ
- ②毛づくろいをする事によって、尾脂腺から脂分を羽毛に広げ、防水・防寒の効率を上げる
- ③脂肪でおおわれた丸い体
- ④くちばし、足、羽などは、熱そのものをにがしやすい箇所なので小ぶりにできている

シロクマの寒さの工夫

- ①耳を小さくして、熱の放出を防ぐ
- ②分厚い脂肪と長い体毛でおおわれている
- ③毛は本体空洞になっていて保温性が高い
- ④黒い地肌は熱を吸収しやすく、熱吸収率を高められている

エゾリスはキタリスの亜種で北海道の固有種です。体長は20~25cmほどで冬眠しないため、秋になると冬毛になり、耳先の毛が長くのびます。



エゾリス (冬毛)

学校名	西田小学校	氏名	福留 凰矢
-----	-------	----	-------

### 名寄市と杉並区の天体の見え方と暖房の違い

ぼくは、名寄市と杉並区の天体の見え方と暖房の違いについて調べました。

調べたことの1つ目は天体の見え方です。ぼくは、北極星の角度で星の見え方の違いを調べました。北極星の角度は、観測をした土地の緯度とほとんど同じ数値になります。分度器に重りを付けたヒモを垂らして北極星の角度を測りました。名寄に行く前と行った後に杉並で測ったときは、両方とも杉並の緯度と同じ35度になりました。名寄での観測でも、緯度と同じ44度になりました。このことから、地球は丸く、北極星は北極点の真上付近にあるため、北に行けば行くほど北極星の見える角度は高くなるということを体験できました。また、名寄はその分杉並よりも南の空の星が低い位置にあり、太陽も低い位置にありました。そのため、名寄の昼の時間は短く、記録によると、12月26日は杉並と比べて53分も短く、北極に近づいた実感がわきました。

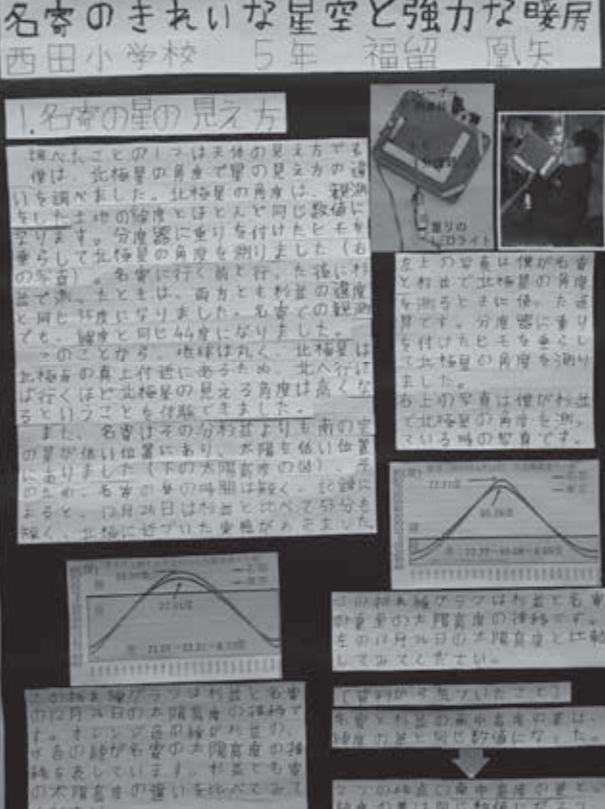
調べたことの2つ目は、暖房の違いです。名寄は北海道の中でも特に寒く、真冬にはマイナス20度まで気温が低くなることもあります。僕たちが名寄にいた時も、マイナス15.5度が記録されていました。宿泊したコテージでは石油ストーブとエアコンが常に使用されていました。それに加えて、二日目に北国博物館の方から、最近ではセントラルヒーティングとよばれる、ボイラーで沸かしたお湯を循環させ、部屋を暖めるという仕組みがよく使われていると聞きました。名寄の暖房は強力で、室内は暑いぐらいでした。

僕は名寄に行って、杉並と名寄の星の見えやすさの違いにおどろきました。行く前の天気予報では、曇り時々雪だったので、星が見えるか心配でしたが、夜は晴れたので、とても良かったです。杉並では北極星を見るのがやっとですが、名寄では杉並ではほとんど見えない暗い星も見えたので、次回は冬ではなく夏の名寄に行って、夏の星座や天の川を見てみたいです。

名寄のきれいな星空と強力な暖房  
西田小学校 5年 福留 凰矢

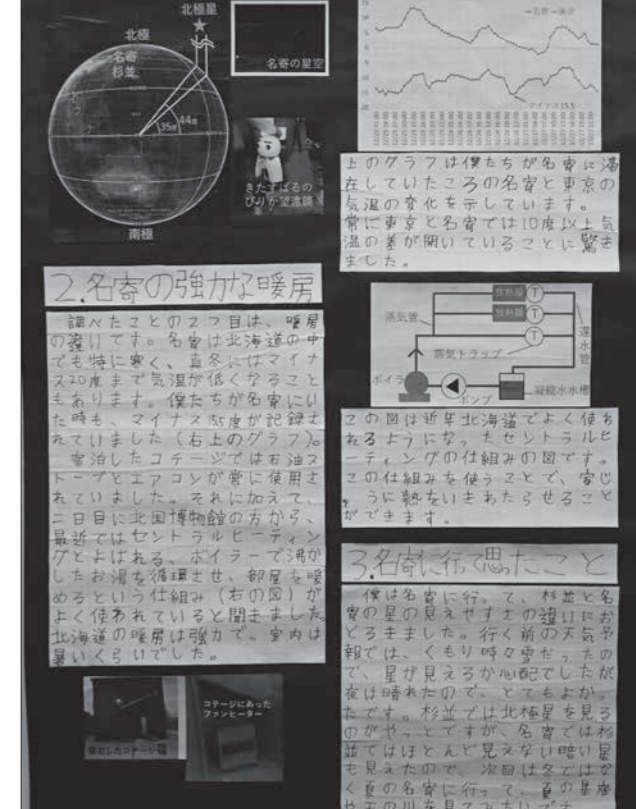
#### 1. 名寄の星の見え方

調べたことの1つ目は天体の見え方です。ぼくは、北極星の角度で星の見え方の違いを調べました。北極星の角度は、観測をした土地の緯度とほとんど同じ数値になります。分度器に重りを付けたヒモを垂らして北極星の角度を測りました。名寄に行く前と行った後に杉並で測ったときは、両方とも杉並の緯度と同じ35度になりました。名寄での観測でも、緯度と同じ44度になりました。このことから、地球は丸く、北極星は北極点の真上付近にあるため、北に行けば行くほど北極星の見える角度は高くなるということを体験できました。また、名寄はその分杉並よりも南の空の星が低い位置にあり、太陽も低い位置にありました。そのため、名寄の昼の時間は短く、記録によると、12月26日は杉並と比べて53分も短く、北極に近づいた実感がわきました。



#### 2. 名寄の強力な暖房

調べたことの2つ目は、暖房の違いです。名寄は北海道の中でも特に寒く、真冬にはマイナス20度まで気温が低くなることもあります。僕たちが名寄にいた時も、マイナス15.5度が記録されていました。宿泊したコテージでは石油ストーブとエアコンが常に使用されていました。それに加えて、二日目に北国博物館の方から、最近ではセントラルヒーティングとよばれる、ボイラーで沸かしたお湯を循環させ、部屋を暖めるという仕組みがよく使われていると聞きました。名寄の暖房は強力で、室内は暑いぐらいでした。



#### 3. 名寄に思ったこと

僕は名寄に行って、杉並と名寄の星の見えやすさの違いにおどろきました。行く前の天気予報では、曇り時々雪だったので、星が見えるか心配でしたが、夜は晴れたので、とても良かったです。杉並では北極星を見るのがやっとですが、名寄では杉並ではほとんど見えない暗い星も見えたので、次回は冬ではなく夏の名寄に行って、夏の星座や天の川を見てみたいです。

3班

3班

## 令和3年度 思いきり楽しんだ小学生名寄自然体験交流

西田小学校 校長 鈴木 朝代

令和3年12月25日、クリスマスの朝、15名の派遣生が、杉並区役所1階ロビーに全員元気に集合しました。コロナ禍において、参加者全員がPCR検査を受けてからの実施となった今年度、全員陰性というパスポートを持って、待ちに待った北海道名寄市へと出発しました。本事業も記念すべき10回目の実施となりましたが、子供たちの熱い思いが天に通じたのか、3日間とも天候に恵まれ、空も陸もほぼ予定通りに私たちを導いてくれました。

子供たちは、たった2回の事前学習会ですぐに打ち解け、まるで以前から同じ学校で学んでいたかのように仲良くなって当日を迎えました。学習会では、現地へ行ってからの役割を決めたり、一人一人のテーマについて伝え合ったり、グループ行動の計画を立てたりしましたが、子供たち同士が分け隔てなく積極的に話し合う姿がありました。日頃、各小学校において、対話を大切にされた教育活動が当たり前展開され、相手を思いやる心情が育まれているのがよく分かりました。

行動班は、1班5人ずつ、共通のテーマをもつ子供たちで構成されました。1班は、「人々の暮らし・仕事・文化・歴史」、2班は、「動物・植物」、3班は、「気候・自然・天文」といったテーマでした。けれども、子供たちは、旭川空港に降り立った時から杉並に戻るまで、テーマにこだわらず、雪国の大自然の素晴らしさを心ゆくまで堪能し、思いきり楽しみました。

なよろ市立天文台「きたすばる」の村上恭彦台長には、3日間お付き合いいただきました。1日目のピリカ望遠鏡による様々な恒星の観察、2日目のプラネタリウムと実際の星空の解説、3日目の朝のお見送り。大変熱心に、天体の素晴らしさをご伝授くださいました。また、2日目の北国博物館には、市長様、教育長様をご来館くださり、館長様はじめスタッフの皆様には、丁寧に館内を案内していただきました。そして、名寄市の5人の小学生との交流は、ふかふかの雪に大いにまみれながらの楽しいひと時でした。スノーシュー・トレッキングをしながらの宝探し、そり滑り、基地づくり。全身真っ白になりながら、雪の感触と冷たさ、雪国の寒さを思う存分味わうことができました。カーリング体験においても、各班にお一人ずつ講師の方がついてくださり、カーリングの面白さを体験できました。最終日の旭山動物園では、班のメンバーと助け合い、声を掛け合いながら、たくさんの動物を見ることができました。

このように、行く先々で待ち受けてくださった関係者の皆様には、杉並の子供たちに名寄市の素晴らしさを伝え、思いきり楽しんでもらいたいという温かいお気持ちを感じられました。そして、コテージの館長様、なよろ温泉サンピラーの皆様には、気持ちよく生活ができるように、格段のご配慮をいただきました。お陰様で、体調を崩す子は一人も出ませんでした。関わってくださった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。残念なのは、学習成果発表会ができなかったことです。ぜひ、全員の報告書を、子供たちの笑顔を思い浮かべながら、楽しくお読みいただければ幸いです。

## 保護者の感想

一步を踏み出した先に、こんなに素晴らしい出会いや体験ができたことは、子どもにとってとても良い経験になりました。

帰ってきた顔がキラキラしていて、楽しく充実した経験ができたと言っている様子を見て、成長を感じました。

初めは不安も多そうでしたが、帰ってきた姿はとてもしっかりしていました。

初めて会ってから間もない友達や先生方との連帯感は、まさに“仲間”。一緒に素晴らしい自然を体験し、学んできたからこそ力を感しました。

文化や雪の体験、スポーツなど、様々なジャンルに触れることができました。また、事前学習を通じて「学ぶんだ」という姿勢で当日に臨むことができたのも大変良いと感じました。

天候に恵まれ、天体に関する体験も出来たため安心しました。杉並と比べて星が良く見えたことを本当に喜んでおり、良い体験ができました。

自分で応募して初めて親元を離れて旅にでることで、自信がついたように思います。お友達や先生方にも恵まれて仲良くなれたことも、今後の色々な活動に役立つと思います。

大自然に触れ、アイヌ文化にも触れることができ、いつもとは違った刺激を受けていました。

お世話になった名寄市のみなさま  
本当にありがとうございました！

### 令和3年度 名寄市・杉並区交流事業

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった事業もあります。

事業名	概要	時期
アスパラまつり・名寄市写真展	名寄市で撮影したひまわりの写真とひまわりの生花を杉並区役所にて展示しました。	令和3年 6月2日～4日
白樺まつり	東京高円寺阿波おどり親善訪問おどり団と区代表団が名寄市を訪問し、まつり会場で踊りを披露します。	中止
杉並区・名寄市子ども交流会	夏休みに、両自治体の小学4年生から6年生が、相互に訪問し交流します。	中止
とうもろこしまつり	杉並区役所でとうもろこし（ゴールドラッシュ）等を販売します。	中止
秋の物産展	阿佐谷ジャズストリートの期間に、かぼちゃ・じゃがいも・たまねぎ等を販売します。	中止
すぎなみフェスタ	交流自治体合同物産展に出展し、大福等の物産販売を行います。また、会場内でもちつき体験を実施します。	中止
冬のなよろ写真展	名寄市にて作成している冬カレンダーの掲載作品および応募作品の一部を杉並区役所にて展示しました。	令和3年 12月20日～24日
なよろ雪質日本一フェスティバル	杉並区代表団が名寄市を訪問し、「おらの雪像みてくれコンクール」にて区長賞・議長賞の表彰をします。	中止
宗谷線フォトコンテスト入賞作品展	名寄市を通る最北の鉄道「宗谷線」のフォトコンテスト入賞作品を杉並区役所にて展示しました。	令和4年 3月21日～4月1日

## 北海道名寄市のご案内

北海道の北に位置する名寄市は、天塩川と名寄川が豊かな恵みをもたらし、もち米やアスパラガス等の収穫量を誇る、農業を基幹産業とする都市です。夏と冬の寒暖差が最大で60℃にもなり、日本最大級の望遠鏡を持つ市立天文台「きたすばる」や、雪質日本一ともいわれるスキー場などがあります。

杉並区と名寄市の交流は、平成元年7月に旧風連町と交流自治体協定を結んだことに始まります。その後区民を中心とした幅広い交流が続いてきましたが、平成18年3月には旧風連町と旧名寄市とが合併し、新しい名寄市としてスタートを切りました。杉並区と新名寄市は、これまで築いてきた両自治体の関係をさらに発展させていくため、平成18年6月に協定を再締結し、より一層の交流を深めています。



### 名寄市のデータ

面積 535.20 km<sup>2</sup>  
(杉並区 34.06 km<sup>2</sup>)  
人口 26,593人  
世帯数 14,306世帯  
(令和4年1月末現在)



北国の春を彩る芝桜



夏のひまわり畑



日本一のもち米を作る稲穂



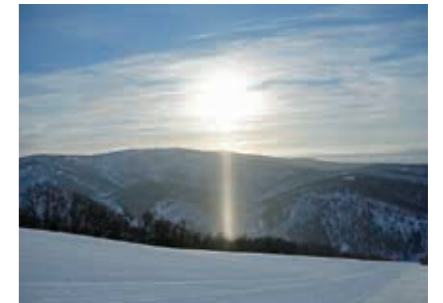
名寄市  
観光キャラクター  
「なよろう」



なよろ市立天文台 きたすばる



雪質日本一！ピヤシリスキー場



神秘的なサンピラー現象

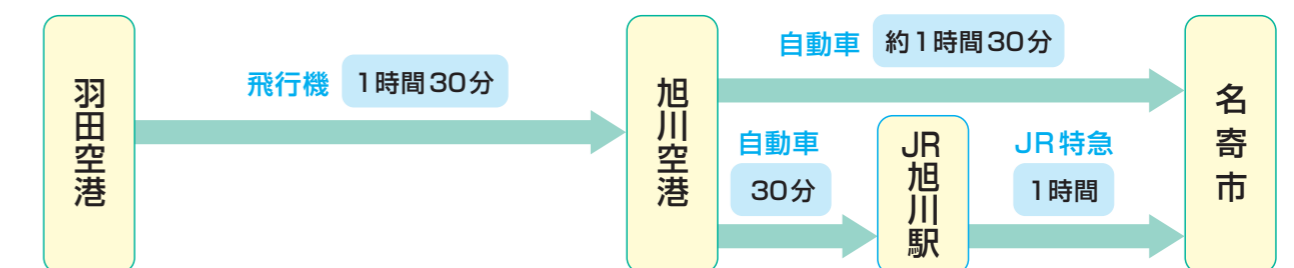
### 令和3年度 小学生名寄自然体験交流事業報告書

令和4年3月発行  
編集・発行 杉並区教育委員会事務局生涯学習推進課  
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
☎ 03-3312-2111 (代表)  
☆杉並区のホームページでご覧になれます。 <https://www.city.suginami.tokyo.jp>

登録印刷物番号

03 - 0090

### 名寄市へのアクセス



## 「小学生名寄自然体験交流事業」は 杉並区次世代育成基金を活用しています

杉並区次世代育成基金は、次代を担う子どもたちが、自然・文化・スポーツなどさまざまな分野における体験・交流事業への参加を通して、視野を広げ、将来の夢に向かって健やかに成長できるように支援するための杉並区独自の仕組みです。

平成24年度の創設より、寄附者の皆さまからの継続的なご支援をいただくことで、多くの子どもたちに貴重な体験を提供することができています。寄附者の思いが基金を通じて子どもに託され、その子どもたちが大人になり、さらに次の世代を育んでいく。

この「支援の循環」が杉並に根付き、希望に満ち溢れた未来へとつながるよう、ご支援をお願いいたします。

区主催のイベントや次世代育成基金活用事業の報告会などで募金活動を行っています。杉並区次世代育成基金の詳細については、杉並区ホームページ(下記QRコード)をご確認ください。



子どもたちの夢を応援する  
杉並区次世代育成基金へのご寄附をお願いします。



【お問い合わせ】

杉並区児童青少年課 TEL:03-3393-4760 mail:jisedai-ikusei@city.suginami.lg.jp